

なす (ナス科一年草)

植えつけ時期:4月下旬~5月中旬
収穫時期:6月中旬~10月下旬

なすは気温が上がってきて、一番花が付いた頃が植付け時です。植え付ける時は、深植えしないように気をつけてください。なすは『肥料食い』です。肥料切れには注意しましょう。

なすの生育温度は22~30℃ よく見るなすはひょうたん型ですが、丸なすや萼緑色のなすもあります。

日当たりの良い場所を好みます。

かんとりスーパー河北潟の目安

<基肥> 1㎡=1kg位 6畳位の畑で10kg~20kg程度
550型プランターで園芸コップ2杯~4杯程度

<追肥> 1㎡=200g位 3週間に1回程度

植物の周囲に蒔いてください。肥料が散逸ないように散水してください。

基肥は粉末タイプ

追肥はペレット(粒状タイプ)
をおすすめします。



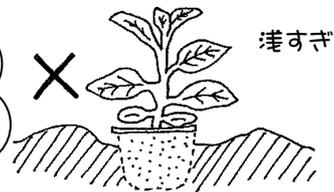
小さいうちは1本、側枝が伸び出したらもう1本交差に立てましょう。斜めに立てるのがポイント。

畑の準備 なすは連作を嫌うので、ナス科を植えた翌年は同じ場所で育てないようにしましょう。肥料を吸収できるように基肥は定植2週間前までに施しておきましょう。

植えつけ 暖かい好天の日を選び植えましょう。株元がうね面と水平またはやや盛り上がるように浅めに植えましょう。土がなじむ程度に水をやりましょう。

整枝・支柱立て 1番花が咲き始める頃に、1番花の下の葉から発生する枝2本と主枝の計3本を残し、他は全部摘み取り3本仕立てにしましょう。わき芽は何度も出てくるので全部取ってくださいね。枝葉が混み合うと良い果実が収穫できないので、小枝や老葉は摘み取りましょう。草丈が高くなると倒伏しやすくなるので主枝をしっかり固定しましょう。

浅すぎず、深すぎず、うね面に水平になるように。



若かえり剪定

まず3本立てになっている主枝を切り戻す

下の方から出た弱い小枝は取り除く



ワンポイント 大敵はアブラムシ&ハダニ。早くから防除しましょう。

株の切り戻し 7月下旬頃3本仕立ての枝の分岐点から30cm上の部位を切除し、そこから発生する若い枝で再び8月下旬以降収穫することができます。

水やり なすは高温多湿を好むので、日照りが続いたら水を与えるのを忘れないでください。また、地温が低いと生長が悪くなります。ポリマルチをかけ地温をあげるといいですね。(ポリマルチは雑草が生えるのを抑制したり、土の跳ね上がりを防いで病気の予防にもなるので、やっていて損はないですよ。)